

スポーツへの取り組み

「富士通とスポーツ」：<http://jad.fujitsu.com/sports/>

陸上競技部、アメリカンフットボール部、女子バスケットボール部をはじめとする富士通のスポーツ活動では、日本を代表するトップアスリートが活躍しています。

スポーツを通じて感動を共有し、より豊かな社会の創造と、人々の「心」と「身体」の健康増進に貢献します。

また、活動拠点を置く川崎市や千葉市を中心に各地で小学生を対象にしたスポーツクリニックへの参加、美化活動への参加等を通じ、地域との共生に努めています。

このほか、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟への協賛、富士通レディースでの日本障がい者スポーツ協会への寄付等、スポーツの振興にも貢献し活動しています。

1. 陸上競技部

1990年3月にオール富士通チームとして発足。1992年バルセロナオリンピックから7大会連続で日本代表選手を輩出。2008年北京オリンピック男子4×100mリレーでは、塚原選手と高平選手が銅メダルを獲得。2015年3月には男子20km競歩にて鈴木雄介選手が世界記録を樹立。「ニューイヤー駅伝」では2000年、2009年に優勝。2008年にはJOCスポーツ賞「トップアスリートサポート賞」で優秀団体賞、2016年「第1回実業団陸上 of The Year」表彰式にて最優秀チーム賞「経団連会長杯」を受賞する等、名実ともに日本陸上競技界をリードするチームです。

2. アメリカンフットボール部「フロンティアーズ」

1985年創部。2003年、2006年、2010年と東日本社会人選手権「パールボウル」優勝。2014年、創部30年にして社会人選手権「JAPAN X BOWL」初優勝、同シーズン日本選手権「RICEBOWL」にて勝利し、日本一の栄冠を勝ち取りました。

3. 女子バスケットボール部「レッドウェーブ」

1985年創部。2005年度から2007年度まで全日本総合選手権3連覇を達成。2007年度はWリーグでも初優勝を果たし2冠を達成。2014年度、2015年度と2年連続でWリーグファイナルに進出し準優勝を果たしています。

4. 川崎フロンターレへの協賛

1997年、富士通サッカー部を母体としたプロサッカークラブ「川崎フロンターレ」を設立。地元川崎市に根付いた地域密着型のクラブとしての活動を支援しています。

[ご参考] リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック日本代表選手9人

ーオリンピック代表選手8人

陸上：森岡 紘一郎 (男子50km競歩)、高橋 英輝 (男子20km競歩)、高瀬 慧 (男子短距離)、澤野 大地 (男子棒高跳)

バスケットボール女子：町田 瑠唯、長岡 萌映子、サッカー男子：大島 僚太、原川 力

ーパラリンピック代表選手1人

車椅子バスケットボール (男子)：藤井 新悟

富士通は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています

富士通は国内最高水準のゴールドパートナー（データセンター）として、オリンピック・ムーブメント、パラリンピック・ムーブメントの促進に貢献し、東京2020大会をサポートしていきます。



FUJITSU



東京2020ゴールドパートナー（データセンター）